

## ヒンデンプルグ号の北米飛行郵便

川原 啓一郎

ツェッペリン号の飛行郵便については、「かごつま316号」で紹介したが、今回はヒンデンプルグ号により運ばれた郵便について紹介する。

ヒンデンプルグ号は1936年完成した全長245mの大型飛行船で、その年に北米飛行を10回行っており、掲載のカバーはドイツを5月6日に出発した第1回目の便に搭載されたものである。この時の1人分の搭乗料金が今の金額に換算すると、約110万円ほどだったということから驚きである。

フランクフルト 1936/5/3 → ニューヨーク 5/9



裏面着印

ルフトハンザ航空10周年記念40pf切手とヒンデンプルグ号の航空切手50pfが並んで貼付されている。これは1935年3月にヒンデンプルグ号はツェッペリン飛行会社とドイツ航空省、ルフトハンザドイツ航空が合併で設立したドイツ・ツェッペリン運行人社によって商業運行が行われていることを暗示している。また、ヒンデンプルグ号の尾翼にはナチスのシンボル「鍵十字」が描かれていた。